

## 芦別の歴史とともに歩んだ伝統の2小学校で閉校式典が行われる



### 117年 常磐小 来春から芦別小に統合

芦別教育発祥の地として知られる常磐小学校は、明治27年、私立簡易教育所創立から2年後の29年を始まりとし、117年の歴史を刻んできました。現在の児童数は16人となっています。

10月26日、同校で行われた閉校式典には、卒業生や常磐町内の皆さんはじめ関係者約250人が出席。清澤市長と小川勉校長が式辞を述べた後、全校児童が学校生活の思い出を語り、合唱を披露しました＝写真＝。児童は、来年4月から芦別小学校へ通います。

来年3月末で閉校となる常磐小学校と野花南小学校でそれぞれ閉校式典が行われました。ともに、明治時代に誕生し、芦別の歴史とともに歩んできました。式典には卒業生をはじめ多くの関係者が出席し、閉校を惜しみました。



### 115年 野花南小 来春から上芦別小に統合

野花南小学校は明治31年、私立糠南簡易保育所として創立されたのが始まりで、115年の歴史があります。昭和63年の現校舎改築の際には、天文台が設置され、同校のシンボルになっています。

11月10日に行われた式典には約260人が出席し、清澤市長と早坂明校長が式辞を述べたほか、14人の全校児童と保護者や町内の皆さんも参加しての演劇「野花南シャインforever」が発表されました＝写真＝。児童は来年4月から上芦別小学校へ通います。

## 本市出身の石塚さんがユニバーシアード冬季大会に出場

本市出身で現在日本大学在学中の石塚陸<sup>たかひろ</sup>さんが、12月11日からイタリアで開催される第26回ユニバーシアード冬季大会の日本代表に選ばれ、11月11日清澤市長に出場のあいさつのため市役所を訪れました。

石塚さんは芦別中学校時代からアルペンスキー選手として、全道・全国大会で活躍。その後小樽双葉高校を経て

日本大学に進み、競技を続けてきました。今年初めからフリースタイルスキーの一種目であるスキークロス競技に挑戦。国際大会で好成績を収め、同競技で日本代表に選ばれました。

石塚さんは、「今回の大会では最低でも決勝トーナメント進出を目指して頑張ります」と清澤市長に意気込みを語りました。



## 芦別産の「ふっくりんこ」が保育園の給食に登場



J Aたきかわのふっくりんこ生産者部会がこのほど、ブランド米「ふっくりんこ」15キログラムを芦別市に寄贈。11月13日、子どもセンター保育園でふっくりんこの給食会が行われました。

同JA管内で「ふっくりんこ」を生産しているのは、芦別市内の常磐町、上芦別町など一部に限られており、芦

別の良食味米PRのため寄贈されたもので、同保育園と上芦別保育園に提供されました。

給食会には、生産農家の皆さんと清澤市長が訪れ、子どもたちと給食を共にしました。子どもたちは、「芦別のお米はおいしいね。たくさん食べるよ」と、笑顔で味わっていました。